

第4回 大和北道路有識者委員会

議事要旨

1. 日時 平成15年1月17日(金) 9:00～11:30

2. 場所 ヒルトン大阪 5階 桜園の間

3. 出席者

委員長	近畿大学商経学部経済学科	教授	斎藤 峻彦
委員	京都大学大学院工学研究科	教授	飯田 恭敬
	京都大学大学院工学研究科	教授	小林 潔司
	奈良女子大学	名誉教授	近藤 公夫
	(財)元興寺文化財研究所	所長	坪井 清足
	神戸大学大学院法学研究科	教授	山下 淳

(五十音順)

4. 議事

前回委員会の論点について、内容確認を行いました。

第3回有識者委員会の議事要旨

事前周知及び意見把握について事務局が説明しました。

シンポジウム(案)

ヒアリング等の実施

説明会・相談所の実施

上記に関して次のような意見がありました。

- ・シンポジウムについては、原案に追加・修正があれば各委員より事務局に連絡し、それを踏まえたうえで2月16日の開催にむけ調整を行う
- ・ヒアリングに際しては、参考人ヒアリングと公聴会の実施を検討。参考人ヒアリングについては、参考人の人選等も含め、次回委員会で素案を提出する
- ・PIプロセスに関しては、奈良県域に限らず、関連地域を含め広く周知する方法を検討すること
- ・PIプロセスでは、できるだけ多くの人から意見を聞くことが重要。そのため一般の方が各種情報にアクセスしやすい環境整備を行うとともに、提出された意見が有識者検討委員会にきちんと伝わるような仕組みを事務局で検討すること

アンケートの概要について事務局が説明しました。

アンケート骨子

上記に関して次のような意見が出され、これらを踏まえ、次回委員会でアンケート案を議論することとなりました。

- ・アンケート骨子に関する各委員の修正・追加案を次回委員会までに提出
- ・アンケートは、有識者検討委員会でルート・構造案を作成するにあたって、ポイントとなる項目を確認するために実施。そのため、アンケート実施にあたっては、現在委員会で検討しているルート・構造の特徴も併せて紹介
- ・アンケートに関しては、聞き方が非常に重要。骨子だけでなく具体的なアンケート冊子を作成のうえ、議論することが必要
- ・すべての人が自由意見を記述できるようにする

大和北道路のルート・構造の検討状況について、委員長から説明がありました。

大和北道路のルート・構造の検討状況

上記に関して次のような議論がありました。

- ・平城宮跡直下ルートは、ルート案としては考えられるが、文化財検討委員会の提言に抵触するため、今後の検討からは削除する
- ・表現や構成は、今回の委員会で指摘のあった事項をふまえ修正し、次回委員会に再提出

その他

大和北道路について、奈良県、奈良市、大和郡山市に意見を求めて、県市から意見が述べられました。

次回委員会について

- ・本日の議論を踏まえ、アンケート修正案、ヒアリングなどの事前周知及び意見把握、ルート・構造の検討状況の修正案について議論する

以 上